



平成31年2月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成31年1月10日

上場会社名 株式会社 魚喜
コード番号 2683 URL <http://www.uoki.co.jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 大庭 美和

問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員 (氏名) 西山 武

TEL 0466-45-9282

四半期報告書提出予定日 平成31年1月11日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成31年2月期第3四半期の連結業績(平成30年3月1日～平成30年11月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
31年2月期第3四半期	9,064	4.9	15		17		41	
30年2月期第3四半期	9,527	2.3	183		183		250	

(注) 包括利益 31年2月期第3四半期 55百万円 (%) 30年2月期第3四半期 243百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
31年2月期第3四半期	16.16	
30年2月期第3四半期	98.09	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
31年2月期第3四半期	2,347	280	11.9	109.78
30年2月期	2,369	336	14.2	131.59

(参考) 自己資本 31年2月期第3四半期 280百万円 30年2月期 336百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
30年2月期		0.00		0.00	0.00
31年2月期		0.00			
31年2月期(予想)				0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成31年2月期の連結業績予想(平成30年3月1日～平成31年2月28日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	12,800	2.7	80		70		40		15.66

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	31年2月期3Q	2,555,856 株	30年2月期	2,555,856 株
期末自己株式数	31年2月期3Q	2,172 株	30年2月期	2,061 株
期中平均株式数(四半期累計)	31年2月期3Q	2,553,723 株	30年2月期3Q	2,553,795 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいております。実際の業績等は、様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間(平成30年3月1日から平成30年11月30日まで)におけるわが国経済は、企業収益の向上や雇用情勢の改善を背景に個人消費の持ち直しなどがあり、緩やかな回復基調で推移しました。一方、経済の先行きにつきましては、米中貿易摩擦問題や金融資本市場の変動、相次ぐ自然災害の影響があり、依然として先行きが不透明な状況が続いております。

当社グループが事業の主体をおく水産小売業界においては、食の安心・安全に対する関心が一層高まるとともに、節約志向・低価格志向がいまだに根強く続いております。他方、水産資源の枯渇や異常気象などによる漁獲量の減少に加えて、世界的規模の需要増により魚介類の仕入価格は依然として高騰傾向にあります。また、資材価格や人件費の上昇や人口構造変化による採用難からくる深刻な人手不足の状況が続いております。この消費性向と仕入環境などにより当社グループを取り巻く経営環境は引き続き厳しい状況で推移いたしました。

このような環境において、当社は収益改善を図るべく、商品開発をはじめとする新しい商品MDの導入や売場の改善による既存店の強化を実施するとともに、利益確保が見込める優良物件への新規出店(鮮魚3店舗)及び不採算店舗の撤退(鮮魚2店舗)をいたしました。また、仕入効率化による原価率の低減、従業員1人当りの生産性向上のための要員見直し等を実施し、人件費及び諸経費の見直しを積極的に推進いたしました。

この結果、当第3四半期連結累計期間における当社の売上高は90億64百万円(前年同四半期比4.9%減)、売上総利益は37億40百万円(前年同四半期比3.5%減)、営業損失は15百万円(前年同四半期は1億83百万円の営業損失)、経常損失は17百万円(前年同四半期は1億83百万円の経常損失)、親会社株主に帰属する四半期純損失は41百万円(前年同四半期は2億50百万円の親会社株主に帰属する四半期純損失)となりました。

セグメント別の業績は次のとおりであります。

(鮮魚事業)

鮮魚事業の売上高は、80億57百万円(前年同四半期比5.6%減)となり、セグメント利益は、2億36百万円(前年同四半期比33.6%増)となりました。

(飲食事業)

飲食事業の売上高は、7億19百万円(前年同四半期比1.3%減)となり、セグメント利益は、39百万円(前年同四半期比45.1%増)となりました。

(不動産事業)

不動産事業の売上高は、3億22百万円(前年同四半期比8.2%増)となり、セグメント利益は、31百万円(前年同四半期比19.3%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ21百万円減少し、23億47百万円となりました。このうち、流動資産は前連結会計年度末に比べ1百万円増加して14億13百万円となり、また、固定資産は前連結会計年度末に比べ23百万円減少して9億33百万円となりました。

(負債)

負債の総額は、前連結会計年度末に比べ33百万円増加し、20億66百万円となりました。このうち、流動負債は前連結会計年度末に比べ47百万円増加して14億75百万円となり、また、固定負債は前連結会計年度末に比べ13百万円減少して5億91百万円となりました。

(純資産)

純資産は、前連結会計年度末に比べ55百万円減少し、2億80百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成31年2月期の通期の連結業績予想につきましては、平成30年4月13日の決算短信で公表いたしました通期の連結業績に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成30年2月28日)	当第3四半期連結会計期間 (平成30年11月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	611,863	585,972
売掛金	493,285	538,332
商品	135,757	155,473
貯蔵品	13,286	11,990
繰延税金資産	11	112
その他	157,642	121,492
流動資産合計	1,411,848	1,413,372
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	658,637	640,200
減価償却累計額	△502,527	△491,855
建物及び構築物(純額)	156,109	148,345
工具、器具及び備品	878,017	874,763
減価償却累計額	△689,174	△695,871
工具、器具及び備品(純額)	188,843	178,891
土地	389	389
リース資産	21,577	21,577
減価償却累計額	△16,986	△19,382
リース資産(純額)	4,590	2,194
有形固定資産合計	349,933	329,821
無形固定資産		
リース資産	157	82
その他	85,684	89,877
無形固定資産合計	85,841	89,960
投資その他の資産		
投資有価証券	105,185	84,643
敷金及び保証金	374,733	373,682
その他	41,591	55,664
投資その他の資産合計	521,510	513,990
固定資産合計	957,285	933,771
資産合計	2,369,133	2,347,144

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成30年2月28日)	当第3四半期連結会計期間 (平成30年11月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	424,168	505,635
短期借入金	300,000	250,000
1年内返済予定の長期借入金	253,700	270,148
リース債務	3,615	2,657
未払金	214,044	253,562
未払法人税等	49,047	28,578
賞与引当金	25,408	848
関係会社支援損失引当金	17,700	—
資産除去債務	155	76
その他	140,424	164,223
流動負債合計	1,428,265	1,475,730
固定負債		
長期借入金	461,000	440,945
リース債務	1,868	—
長期預り保証金	82,216	79,716
繰延税金負債	15,831	9,514
関係会社支援損失引当金	—	17,400
資産除去債務	43,181	43,321
負ののれん	727	181
固定負債合計	604,824	591,079
負債合計	2,033,089	2,066,809
純資産の部		
株主資本		
資本金	941,031	941,031
資本剰余金	1,029,015	1,029,015
利益剰余金	△1,664,115	△1,705,384
自己株式	△5,456	△5,634
株主資本合計	300,474	259,027
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	35,570	21,307
その他の包括利益累計額合計	35,570	21,307
純資産合計	336,044	280,334
負債純資産合計	2,369,133	2,347,144

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成29年3月1日 至平成29年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成30年3月1日 至平成30年11月30日)
売上高	9,527,273	9,064,909
売上原価	5,651,144	5,324,562
売上総利益	3,876,129	3,740,347
販売費及び一般管理費	4,059,206	3,756,273
営業損失(△)	△183,077	△15,925
営業外収益		
受取利息	3	5
受取配当金	1,349	1,499
受取手数料	3,055	262
保険差益	—	2,639
負ののれん償却額	545	545
その他	3,338	2,470
営業外収益合計	8,292	7,421
営業外費用		
支払利息	8,684	6,924
リース解約損	—	2,321
その他	165	18
営業外費用合計	8,850	9,264
経常損失(△)	△183,635	△17,768
特別利益		
固定資産売却益	459	—
特別利益合計	459	—
特別損失		
固定資産売却損	—	627
固定資産除却損	9,299	498
店舗閉鎖損失	5,000	—
投資有価証券評価損	9,999	—
関係会社支援損失引当金繰入額	19,000	—
特別損失合計	43,299	1,126
税金等調整前四半期純損失(△)	△226,475	△18,895
法人税、住民税及び事業税	24,086	22,509
法人税等調整額	△66	△136
法人税等合計	24,019	22,373
四半期純損失(△)	△250,495	△41,268
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△250,495	△41,268

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成29年3月1日 至平成29年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成30年3月1日 至平成30年11月30日)
四半期純損失(△)	△250,495	△41,268
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	7,060	△14,262
その他の包括利益合計	7,060	△14,262
四半期包括利益	△243,435	△55,531
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△243,435	△55,531
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自平成29年3月1日 至平成29年11月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	鮮魚事業	飲食事業	不動産事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	8,535,199	728,635	263,438	9,527,273	—	9,527,273
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	34,147	34,147	△34,147	—
計	8,535,199	728,635	297,585	9,561,420	△34,147	9,527,273
セグメント利益	177,110	27,435	26,419	230,965	△414,042	△183,077

(注) 1. セグメント利益の調整額△414,042千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△433,046千円等が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

重要な変動はありません。

(重要な負ののれん発生益)

重要な負ののれん発生益はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成30年3月1日 至平成30年11月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	鮮魚事業	飲食事業	不動産事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	8,057,567	719,077	288,264	9,064,909	—	9,064,909
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	33,812	33,812	△33,812	—
計	8,057,567	719,077	322,077	9,098,722	△33,812	9,064,909
セグメント利益	236,658	39,798	31,530	307,987	△323,913	△15,925

(注) 1. セグメント利益の調整額△323,913千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△324,405千円等が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

重要な変動はありません。

(重要な負ののれん発生益)

重要な負ののれん発生益はありません。